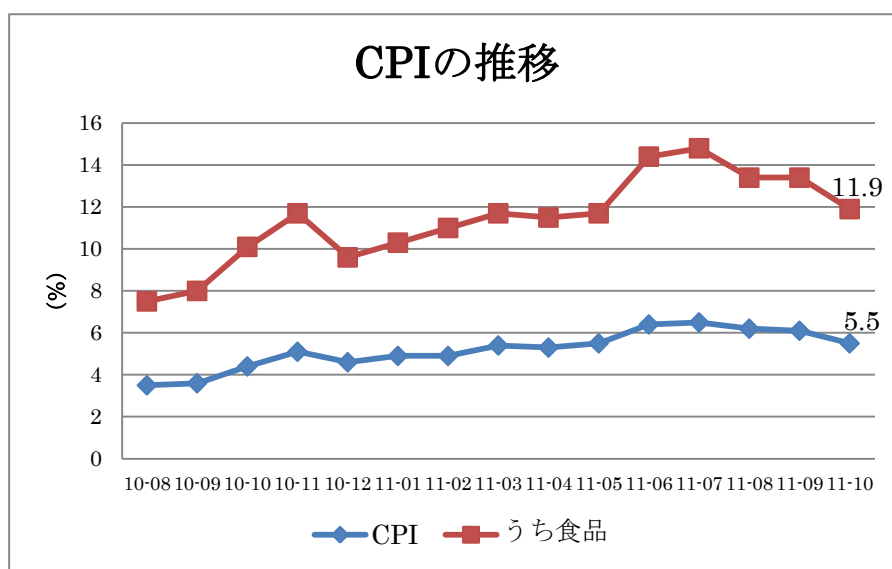


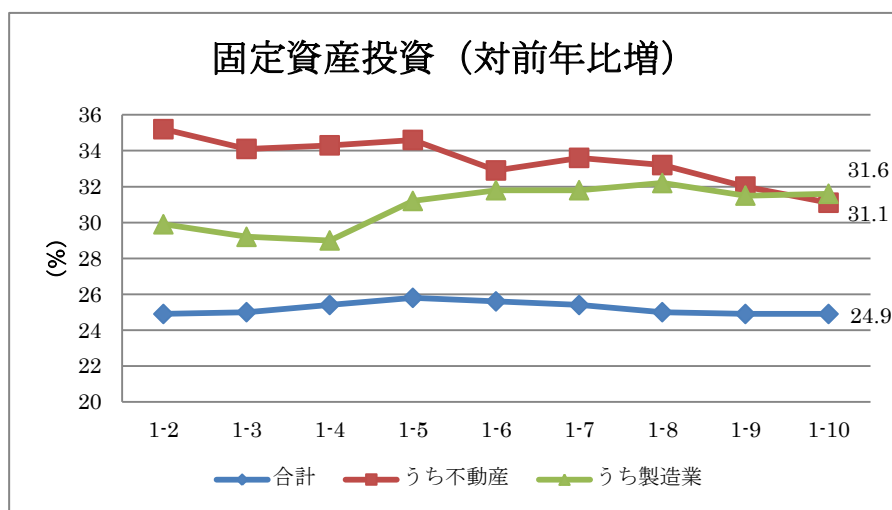
11月9日、国家統計局は10月のCPIを発表。

10月のCPIは5.5%と前月(6.1%)より大幅に低下し、中国政府が今年最大の経済運営課題と位置付けてきたインフレ問題が既にピークを迎えた可能性が高いことが示された。特にこれまでインフレの主要原因と目されてきた豚肉価格が前月比で1.8ポイント下落するなど食品価格に一服感が見られたことが大きい。なお、通年のCPIは5.6%となっている。



11月9日、国家統計局は10月の固定資産投資動向を発表。

欧州債務危機が深刻化する中でも中国の固定資産投資は引き続き堅調で、10月の固定資産投資は対前月比1.34%の増、1-10月累計の対前年同期比では24.9%の増となった。



	<p>投資の内訳を見ると、<u>住宅価格の足踏みを背景にこれまで中国における固定資産投資のリーダー役だった不動産投資の伸び率が低下する一方、人件費の高騰等を背景に自動化等の製造業投資の伸び率が上昇しており、1-10月では初めて両者の伸び率が逆転している。</u></p> <p>投資は中国経済成長の最も重要な動力であり、住宅市場の減速という一面だけを見て「バブル崩壊」をはやし立てる一部の見方が正確でないことが数字でも明らかになったといえよう。</p>																																																																														
<p>11月10日、海関総署は10月の貿易収支を発表。</p>	<p>欧米経済の減速を受けて<u>10月の輸出は対前年同期比15.9%増へと減速、一方、輸入は28.7%増という高い伸びとなった。</u>その結果、貿易黒字は対前年同月比36.5%の減少、1-10月通期では1,240億ドルと同15.4%減となった。</p> <p>国別では1-10月通期の貿易総額が24.3%増であるのに対し、EUとは20.2%増、アメリカとは16.8%増、日本とは17.7%増といずれも平均を下回っている。一方、ASEANとは25.7%増となっているほか、オーストラリアとは34.6%増、ブラジルとは37.4%、ロシアとは43.8%増、南アフリカに至っては87%増という高い伸びとなっており、<u>中国の貿易における新興国の比重が高まっているのが目立つ。</u></p> <p>一方、<u>輸入の伸び率が前月(20.9%)から大幅に高くなったことは市場予測をよい意味で裏切り、「内需の堅調さ」、「内陸部のインフラ建設や農業投資の増加」をその理由として挙げる分析が目立った。</u></p> <p>なお、Standard & Charteredは17日、貿易収支が縮小傾向にある状況を踏まえ来年上半期の人民元レート上昇速度が毎四半期1%から0.6%に減速するとの見通しを公表している。</p> <div data-bbox="475 1370 1369 1986" data-label="Figure"> <h3 style="text-align: center;">中国の輸出相手国別構成</h3> <table border="1"> <caption>中国の輸出相手国別構成 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>Others</th> <th>EU</th> <th>HK</th> <th>JP</th> <th>US</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2000</td><td>30%</td><td>15%</td><td>15%</td><td>10%</td><td>30%</td></tr> <tr><td>2001</td><td>30%</td><td>15%</td><td>15%</td><td>10%</td><td>30%</td></tr> <tr><td>2002</td><td>30%</td><td>15%</td><td>15%</td><td>10%</td><td>30%</td></tr> <tr><td>2003</td><td>30%</td><td>15%</td><td>15%</td><td>10%</td><td>30%</td></tr> <tr><td>2004</td><td>30%</td><td>15%</td><td>15%</td><td>10%</td><td>30%</td></tr> <tr><td>2005</td><td>30%</td><td>15%</td><td>15%</td><td>10%</td><td>30%</td></tr> <tr><td>2006</td><td>30%</td><td>15%</td><td>15%</td><td>10%</td><td>30%</td></tr> <tr><td>2007</td><td>30%</td><td>15%</td><td>15%</td><td>10%</td><td>30%</td></tr> <tr><td>2008</td><td>30%</td><td>15%</td><td>15%</td><td>10%</td><td>30%</td></tr> <tr><td>2009</td><td>30%</td><td>15%</td><td>15%</td><td>10%</td><td>30%</td></tr> <tr><td>2010</td><td>30%</td><td>15%</td><td>15%</td><td>10%</td><td>30%</td></tr> <tr><td>2011</td><td>30%</td><td>15%</td><td>15%</td><td>10%</td><td>30%</td></tr> </tbody> </table> </div>	年	Others	EU	HK	JP	US	2000	30%	15%	15%	10%	30%	2001	30%	15%	15%	10%	30%	2002	30%	15%	15%	10%	30%	2003	30%	15%	15%	10%	30%	2004	30%	15%	15%	10%	30%	2005	30%	15%	15%	10%	30%	2006	30%	15%	15%	10%	30%	2007	30%	15%	15%	10%	30%	2008	30%	15%	15%	10%	30%	2009	30%	15%	15%	10%	30%	2010	30%	15%	15%	10%	30%	2011	30%	15%	15%	10%	30%
年	Others	EU	HK	JP	US																																																																										
2000	30%	15%	15%	10%	30%																																																																										
2001	30%	15%	15%	10%	30%																																																																										
2002	30%	15%	15%	10%	30%																																																																										
2003	30%	15%	15%	10%	30%																																																																										
2004	30%	15%	15%	10%	30%																																																																										
2005	30%	15%	15%	10%	30%																																																																										
2006	30%	15%	15%	10%	30%																																																																										
2007	30%	15%	15%	10%	30%																																																																										
2008	30%	15%	15%	10%	30%																																																																										
2009	30%	15%	15%	10%	30%																																																																										
2010	30%	15%	15%	10%	30%																																																																										
2011	30%	15%	15%	10%	30%																																																																										

China News Flash

(ちょっとした興味深いニュースです)

◎中国人に人気の贈り物 10 選

週刊誌「生活週刊」10月24日号は、最近中国人に人気の贈り物 10 選なる特集をしている。興味深いので以下に紹介したい。中国で要人に会う時、ここぞという時にどんなお土産を持っていったら喜ばれるか迷っている人がいたら参考になるかも？

<第 1 位> 葉巻「黄鶴楼 1916」

武漢中煙集団が復刻した葉巻で、1本2千元（2万6千元）だがなかなか手に入らない人気だという。一つのケースに8本入っているので1ケースだと1万6千元（21万円）となる。1カートンなら百万円以上。



<第 2 位> 紅茶「金駿眉」

発売後3年のブランドながら定価は500gで8,800元（11万5千元）。武夷山桐木関地区の若芽だけを摘み取り伝統製法で製造したもの。

<第 3 位> マオタイ酒

2005年までは1瓶300元と庶民的な価格だったが今や1瓶（500ml）1千5百元（2万円）に。値段が上がれば上がる程売行きがよくなる不思議な酒とされる。

<第 4 位> ワイン「Milondo de Lafet」

大切なお客をもてなす際に用いられるワインとして中国では有名で、値段は産年によるが1瓶1.5万元（20万円）から6万元（80万円）まで。お手軽な7千元（9万円）の小瓶もある。

<第 5 位> iPhone & iPad

これは説明不要。深圳では地下鉄の中で若者たちも皆使っています。ちなみに中国での価格はiPhone1台6千元（7万円）程度。

<第 6 位> ルイヴィトンのカバン

中国で最も有名なカバンブランド。値段は1つ数万元。（数十万円）

<第 7 位> 冬虫夏草

伝統的な漢方で今でも人気がある。価格は虫の太さにより、1kg当たり高いもので18万元（230万円）から安いものは10万元（130万円）程度。重さ当たりで黄金の値段の5割増し相当と覚えてください。

<第 8 位> 海外旅行

接待の相手方が公務員の場合、旅行期間中の「研修」項目が全日程の3分の1以上あることが要件になっているのでご注意ください。

<第 9 位> 玉

中国の伝統的な宝石はまだ人気がある。価格はピンキリだがピンは青天井。

<第 10 位> 黄花梨の家具

「紅木」と称される高級木を使って作った家具。海南省のごく一部でしか算出されない貴重な木で、これで作った椅子にかけているだけで血圧が下がるという噂も。

どうでしょう？参考になったでしょうか？

◎大陸内の消費拡大：服装品売上げが好調

香港紙経済日報が17日伝えたところによれば、今年第3四半期までの中国国内服装品売上は5,400億元を超え、前年比24.8%と急速に成長しているという。都市民一般家庭の昨年の服装購入費は家計の約1割に相当する1,400元（1万8千円）で、主要な販路は百貨店（高価格品）と卸売市場や大規模スーパー（低価格品）に二極化しているとのこと。最近の傾向としては卸売業者経由でなく直販が増えていることで、例えばBurberryは約7億元を投じて大陸内の50ある販売代理店から販売権を回収し10か所の直営店を設けたほか、Tommy Hilfigerも今年2月にそれまでの代理店契約を解消し直販に移行したという。また、Zaraは今年42都市に新規店舗を開設したほか、Uniqloも今年から内地に毎年100店舗を開設する計画で、特に重慶、成都、大連、瀋陽、杭州といった都市が可能性が高いと見なされているという。一方、若者にはインターネット販売も人気で、その場合ソーシャルサイトを通じた顧客とのつながりを強化することが決め手となっているという。報告書は香港の利豊研究センターが公表し、以下のウェブサイトに掲載されている。

http://www.lifunggroup.com/eng/knowledge/research/industry_series19.pdf

◎携帯電話アプリを使ったデジタル書籍販売競争が本格化

日本では著作権の関係でなかなか難航しているデジタル書籍販売だが、膨大な読書人口を持つ中国では競争が本格化している。デジタル書籍最大手の「盛大文学」が新たにiPhone、Android携帯電話アプリに対応した書籍販売サイト「百閱」（baiyue.com）を開始、深圳等の地下鉄構内では多数の広告を目にするようになった。中国でのデジタル書籍販売はこれまでパソコン、パッド等の端末がメインだったが、今後は読者層の拡大を背景に携帯電話をプラットフォームとした市場が熱くなりそうである。

◎中国の「政府公用車」は国産車購入を原則に？

香港紙18日付け「文汇报」が報じるところによると、中国の「政府公用車」は原則として国産車を購入するよう義務付ける動きがあるようだ。情報の発信源は中国自動車工業会の朱一平事務局長補佐がマイクロブログで「中国政府の幹部の間で、幹部が率先して国産車に乗るべきだ」という議論が高まっている。」とつぶやいたことがきっかけで、その後この情報を追認するように15日に工業情報部が「国産自動車の創新に関する座談会」を開催していたことが確認されたという。

中国の「政府公用車」はアウディ（57%）、フォルクスワーゲン（30%）、ベンツ（5%）、

BMW (2%) をはじめとする外国製高級車が主流で、年間の購入数は 800 億元と自動車販売額の 14%を占める規模と言われており、これに対して国産車は例えば奇瑞 (CHERY) は 3400 台とわずか 0.4%のシェアにとどまっているという。いきなり全てを国産車ということにはならないとしても、仮に半分以上を国産車とすることとした場合、その影響は極めて大きい。

◎社会科学院金融研究所：人民元は 2020 年にアジア基軸通貨に

中国社会科学院金融研究所は 16 日公表した「金融白書 (金融藍皮書)」の中で、「現状では中国の金融業はその経済力と比べて遅れている」ものの、「2020 年には日本の 2 倍の経済規模となり、アジアの中での地位を確立し、人民元はアジアの基軸通貨になるだろう」と予測している。また、世界的には現在の「ドル・ユーロ二極体制」から人民元を加えた「三極体制」あるいは SDR を加えた多極体制に移行していくと予測している。18 日付け香港紙「文汇报」が伝えた。

◎リコールされた新幹線車両が続々復帰

8 月に北京ー上海新幹線の運用からリコールされ修理が進められていた最高速度 380km の新幹線「CRH380BL」が修理を終え、16 日から続々と現場に復帰しはじめた。ただし既に引き下げられた運行速度は見直さず、「低速」での運転となる。計画では 12 月 20 日までに全ての「CRH380BL」が現場に再投入されるとのこと。各紙が伝えた。

◎山東省煙台産「富士リンゴ」が値上がり

山東省煙台一帯はリンゴ生産がさかんで、特に「富士リンゴ」が人気があるという。18 日付け「21 世紀経済報道」によれば、今年の相場は直径 8 センチ玉で 500g 当たり 3.2~3.4 元 (40 円) と昨年より 30%値上がりしているとのこと。(ちなみに昨年一昨年より約 3 割の値上がりだった由。) 煙台産の富士リンゴは年産 300 万トンでほとんどが国内市場向けに出荷されるが、農家数も約 6 千と小規模で競争が激しいという。特に最近ではリンゴ価格の上昇で豚の飼育からリンゴの生産に転向する農家も増えており、競争は激化する傾向にあるとのこと。現状では輸出は年間わずか 1 万トンにすぎないが、ASEAN や EU では中国産「富士リンゴ」は人気があるようだ。

◎香港の宝石商「周大福」が 12 月に香港証取に上場

中国経済の発展の恩恵を最も受けているのはどの業種だろうか。不動産業が真っ先に思い浮かぶが、ジュエリー産業もばかにならない。香港の「周大福」の昨年の売り上げは 53% 増で、売上高では既にティファニーを 5 割も上回っているという。更に報道によれば今年なんと 71%の売上増を見込んでいるようだ。「周大福」の強みは何より大陸内で築いたブランド力で、検索エンジン「百度」でのヒット率はルイヴィトン、シャネル、グッチ、コ

一ちに次ぐ第5位とプラダ、カルチェ、ティファニー、ロレックスを上回っているという。
12日付け Wall Street Journal Asia は同社が12月に香港市場に上場することを伝え、欧米人にはほぼ無名の宝石商の規模と収益性を驚きをもって伝えている。

(以上)

Disclaimer: 本資料中の数字は注意してチェックしていますが正確さを保証するものではありません。

文章中意見にかかる部分は個人的見解でありいかなる組織の意見でもありません。